

こんにちは 松坂みち子です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.404 2019.3.13 連絡先 402-1622 >



代表質問 ひめだ高宏議員

問 **消費税増税**が、本市財政、市民のくらしや経済へ与える影響は？

答 増税は市民のくらしや経済へ影響を与えると考える。暮らしや本市経済への影響を軽減できるよう取り組んでいく。

県議選

3月29日告示

4月7日投票

問 **障害者が65歳になると介護保険の利用を強制される**ことについて

答 法律上、原則介護保険のサービスを利用してもらっている。また個別に状態を判断し、障害福祉サービスの継続や上乗せの支給を行うことができる。経済的負担は、要件を満たす方には、軽減する制度が平成30年度から始まっている。

問 **生活困窮者自立支援**の目的と市の対応、困窮者の生活を立て直すために必要なことはなにか。

答 自立相談支援事業を中心に任意事業の実施により自立の促進を図る。庁内・庁外関連機関との会議で連携を図り支援の充実に努める。相談者の思いに寄り添った支援が必要。。

問 **中学校給食**の現状はどうか。中学校で全員給食を実施していないのが本市だけになるがそれでよいのか。現在の学校給食費は無償とすべきと思うがどうか。

答 弁当を持参できない生徒に対しては一定の成果を上げている。他市町村の状況にかかわらず、本市の生徒や保護者がどのような給食を望んでいるか、検討していく必要がある。無償化は考えていない。



問 **カジノ**がなくても外国人観光客が増えていることをどう考えるか。観光客は自然や風景、食事を求めていると聞く、カジノはむしろ阻害要件になると思うがどうか。

答 国際競争力の高い魅力ある滞在型観光を実現するため、IR整備法ができた。IRができれば、多くの観光客を呼び込み、他の観光地への誘客にもつながるため、阻害するものとは考えない。

みち子のひとりごと 平和であればこそ

29日の告示まで、あと2週間というところまで来ました。改めて身の引き締まる思いです。

私が共産党に入ったのは、日本共産党が戦前から戦争反対を貫いてきた唯一の政党だと知ったからです。子どもたちが生きる未来が平和であるように、そのために自分ができることがあるなら何でもしようと思ったからです。

安倍政権が憲法を変えて戦争ができる国に戻そうとしています。現実には平和に危機が迫っています。何としても食い止めます。

祖母や母に聞いた戦争の話はともつらいものですが、「今の時代、そんなことにはならへんわよ」という声があります。でも、世界中では紛争が絶えず、悲しい話があふれています。

「平和は育てるもの」。放っておいては育ちません。今こそ声を大きく上げていきたい。一人ひとりが大切にされる社会のために。



同和事業を終結せよ

森下さち子議員の一般質問

森下市議は、同和事業のために住宅1課、2課と分けて募集をして、同じ市営住宅でありながら一般公募する住宅と一般公募しない旧同和住宅があることや、児童館、文化会館、教育研究所などの公共施設も広く市民に開かれた施設となっていない実態を告発。同和事業の終結を要求しましたが、尾花市長は「今なお差別的意識が解消されていない」と同和事業を聖域化。旧同和住宅の一般公募について「考えていない」と拒否しました。

森下市議は、市街化地域の農業を守る生産緑地制度で、市が年齢や耕地面積の要件を追加したことを「新たな指定要件を加えるのでなく、農地の保全と都市農業をどう支援するのかという立場でのぞむべきだ」と批判。都市建設局長は「（追加要件の）効果について、生産緑地地区の指定状況などを注視していく」としました。



生活困窮者自立支援の充実

中村あさと議員の一般質問

中村議員は就労と引きこもりを繰り返すなど千勝、精神ともに困難を抱える生活困窮者の実態を紹介。就労準備支援事業が最長で1年であることについて「1年という限られた時間で『支援を必要としない就労』までのステップは疑問」と指摘し、相談者に寄り添った支援を求めました。

また、保育園を卒園後、小学校に入学までの間、保育をしてもらえるところがなく、仕事を辞めざるを得なかったなどの実態を示し、学童保育の活用を求めました。これに対し教育局長は、保育園を卒園した3月中は「法律で小学生とは言えないので学童保育に入れることはできない」と。市長も「学童保育の拡充は困難」と答弁しました。



こんにちは

井本ゆういちです



市議選
4月14日告示
4月21日投票

しんぶん赤旗日曜版の購読を訴えています。最近購読したことのある方には、中身の説明はあまりしないのですが、購読したことのない方には、新聞を見せて、少し説明も必要です。ここ何週間か、日曜版創刊60周年ということで、各界の有名な方々からメッセージが寄せられていて、それが目にとまり、会話が弾むこともありま

す。メッセージそのものは、新聞を何ペー

ジかめくったところにはしか出てこないのですが、トップのページに、名前と顔写真が載っており、めくらなくても目にとまる工夫がされているのに気が付きました。購読という点では、赤旗日曜版の多彩な中身を見てほしい思いはありますが、そのきっかけとして、芸能界やスポーツ界の著名人の写真がトップに載っていると話がしやすいですね。

水道の民営化すべきでない

南畑さち代議員の一般質問

南畑議員は、市・企業局（水道・工水・下水）が昨年、国の交付金で、コンセッション（施設の所有権はそのままに運営権を民間事業者に売り独占させる手法）導入の可能性の調査を行ったことから、水道の民営化を国から求められるのではないかと、企業局として水道の民営化は行うべきではないと思うがどうかと、質問。富松公営企業管理者は「今後も市民へ安心安全で安定した水の供給は、企業局の使命と考え現状と変わることなく主体性を持って水道事業に取り組む」と答弁しました。

南畑議員は、和泉山脈に計画されている4つのメガソーラー計画について、市の対応を質問しました。

こんにちは松坂みち子です No.404